

目標達成計画

事業所名 シンシアリイ

作成日：4年6月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるならぬよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	・理念の共有と実践 企業理念や事業所理念を理解し、介護サービスの提供をしていくかどうか	考査や、サービス提供の際に、理念に基づいた行動を取れるようになります。 また、理念について方向性の確認も行う	理念と介護サービスの接点付箇をもう一度スタッフ会議等で、確認をする 一人でも分かりやすい人がいて、使うには、所属者は、自らの業務についてもフォローし、実践していく	3ヶ月
2	2	・事業所と地域のつながり 地域ケア会議や、三棟園カフェ以外の交流が少ない	気軽に、介護相談が出来る事業所を目指し、自分達からも発信として、情報共有を図りたい	介護相談会の開催や、ホームページでの行事報告、事業所の日常の様子を公開している。	3ヶ月
3	11	・運営に関する職員意見反映 利用希望者の介護度や認知症程度と、スタッフ体制のバランスが取れていない	どのような状況、様々な身体レベルの方においても、利用するとの出来り事業所を目指したい。	実際、認知度の重筋や、独居の方が増えている現状において、スタッフがてくこの経験を踏んで、対応出来るようにならなきゃいけない面がある	1ヶ月
4	24	・こままで暮らしの把握 事業所では、決まりの時間での過ごし方を多くあるが、どのような背景のある方でも同じサービスを展用しがちにある	まずは、新規で開始する前の情報も収集する。そして、その生き立ちや、職業なども参考した過ごし方を提供する。	利用者担当スタッフが率先して、その方に合ったベストな暮らしを考えている。 そこから、介護サービスとして成立する前に、出来ること、出来かかることを具体的に把握していく	6ヶ月
5	13	・職員を育てる取り組み 専属のスタッフを配置する事は難しい。 介護知識と技術、業務それだけで勉強が必要	分野に応じて、勉強会や、個人指導の機会を設けて、スキルアップにつなげたい。 また、個人各自が進んで学習していく環境作りを目指したい	外部研修だけに頼るのではなく、お互いの考えを持ち寄り、自分達で考え手をし探ける事業所を目指す。そのためには、事例を検証し、協議を常にすることが必要である。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。